

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2023年11月30日設定）
運用方針	<p>①モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることができ期待される企業を指します。</p> <p>②マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	ベビー ファンド モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	<p>ベビー ファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。</p>
	<p>マザーファンド 株式への投資割合は、制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</p>
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

モルガン・スタンレー グローバル・
プレミアム株式オープン<隔月決算型>
(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

第9期（決算日：2025年5月23日）

第10期（決算日：2025年7月23日）

第11期（決算日：2025年9月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>（為替ヘッジなし）予想分配金提示型」は、去る9月24日に第11期の決算を行いましたので、法令に基づいて第9期～第11期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◆当期間の運用で主眼を置いたポイント

- 当期間は、株式市場の値動きが激しい期間となりました。米国関税などを背景とした貿易摩擦を警戒する動きなどから、株式市場が下落した局面があった一方、その後に市場の混乱を受けて米国の政策の見直しなどが行われたことなどにより、株価は上昇しました。当ファンドは、短期的に市場全体が大きく下落した局面では、相対的に小さい下落にとどまっており、運用チームが目指している下値抵抗力が発揮されました。一方で、市場が回復する中、市場のけん引役となった半導体関連銘柄などの非保有が、当ファンドにとっては逆風となりました。主な投資行動としては、株価を中心とした指数の提供などを行うMSCI INC（アメリカ）などを新規に組み入れました。一方で、医療テクノロジー会社であるBECTON DICKINSON AND CO（アメリカ）などを全売却しました。

◆今後の見通し

- 2025年4月のテールリスクは一部後退したものの、経済成長見通しは低迷しており、米国は2025年と2026年にそれぞれ成長が見込まれて

いますが、全体的には鈍化しており、不確実性と地政学的緊張が影響し、米国景気が後退する可能性もあるとみています。また、株式市場は実際の経済とは乖離した高バリュエーションを示していると考えています。市場は高成長を樂観視していますが、実際は不確実性が非常に高いとの見解があり、高クオリティ企業がその真価を発揮する可能性があると考えています。

◆運用方針

- 引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や継続的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム

運用責任者
ウィリアム・ロック

ファンド・マネジャー
ブルーノ・ポールソン

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			米ドル為替	(参考指數) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率		期騰落率	期騰落率			
(設定日) 2023年11月30日	円 10,000	円 —	% —	円 147.07	% —	% 10,000	% —	% —	百万円 1
1期(2024年1月23日)	10,492	10	5.0	148.15	0.7	10,597	6.0	96.0	—
2期(2024年3月25日)	10,922	100	5.1	151.43	2.2	11,421	7.8	97.6	—
3期(2024年5月23日)	11,158	100	3.1	156.92	3.6	11,592	1.5	95.4	—
4期(2024年7月23日)	11,178	100	1.1	156.74	△0.1	12,012	3.6	96.9	—
5期(2024年9月24日)	10,768	50	△3.2	143.74	△8.3	12,387	3.1	97.5	—
6期(2024年11月25日)	11,338	100	6.2	154.25	7.3	12,675	2.3	97.6	—
7期(2025年1月23日)	11,556	100	2.8	156.50	1.5	12,936	2.1	96.6	—
8期(2025年3月24日)	10,932	50	△5.0	149.80	△4.3	12,463	△3.7	96.5	—
9期(2025年5月23日)	10,793	50	△0.8	143.91	△3.9	12,953	3.9	96.7	—
10期(2025年7月23日)	10,910	100	2.0	146.48	1.8	13,846	6.9	97.9	—
11期(2025年9月24日)	10,603	50	△2.4	147.85	0.9	14,617	5.6	96.8	—
									518

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指數を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指數化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額	米ドル為替		(参考指數) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率
			騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第9期	(期首) 2025年3月24日	円 10,932	% —	円 149.80	% —	円 12,463	% —	% 96.5 —
	3月末	10,897	△0.3	149.52	△0.2	12,287	△1.4	96.6 —
	4月末	10,369	△5.2	142.57	△4.8	12,348	△0.9	97.0 —
	(期末) 2025年5月23日	10,843	△0.8	143.91	△3.9	12,953	3.9	96.7 —
	(期首) 2025年5月23日	10,793	—	143.91	—	12,953	—	96.7 —
第10期	5月末	10,843	0.5	143.87	△0.0	13,105	1.2	96.4 —
	6月末	10,872	0.7	144.81	0.6	13,615	5.1	97.5 —
	(期末) 2025年7月23日	11,010	2.0	146.48	1.8	13,846	6.9	97.9 —
	(期首) 2025年7月23日	10,910	—	146.48	—	13,846	—	97.9 —
第11期	7月末	11,070	1.5	149.39	2.0	13,917	0.5	97.7 —
	8月末	10,854	△0.5	146.92	0.3	14,288	3.2	97.9 —
	(期末) 2025年9月24日	10,653	△2.4	147.85	0.9	14,617	5.6	96.8 —
	(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。							

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

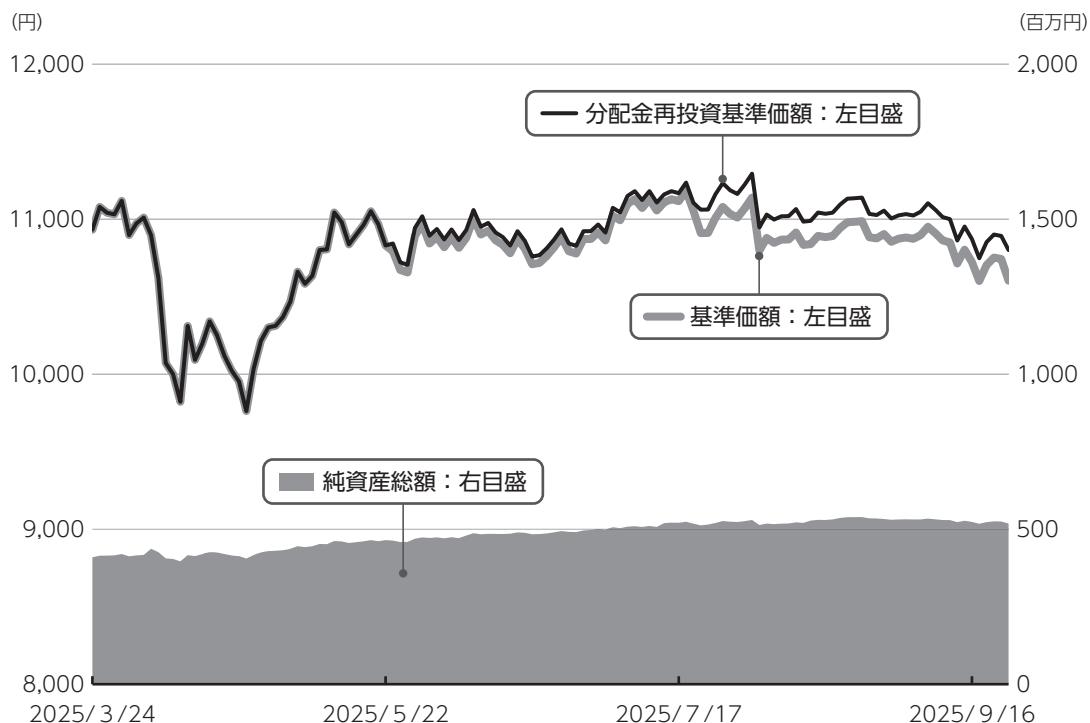
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第9期～第11期：2025年3月25日～2025年9月24日

〉当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首 10,932円

第11期末 10,603円

既払分配金 200円

騰落率 -1.2%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

》基準価額の主な変動要因

下落要因

個別銘柄（UNITEDHEALTH GROUP INC（アメリカ）など）の株価下落などが、基準価額の下落要因となりました。

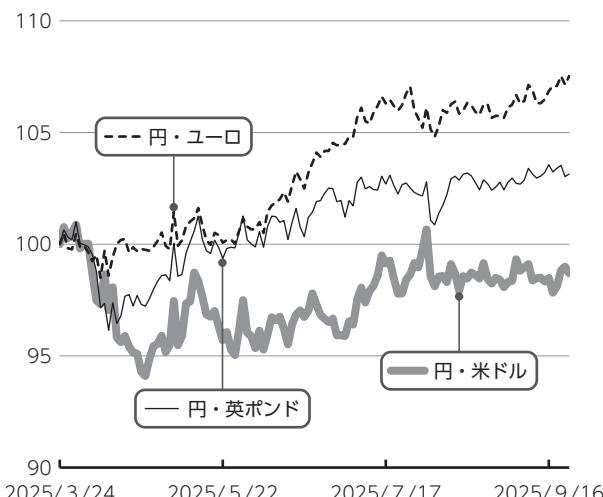
第9期～第11期：2025年3月25日～2025年9月24日

投資環境について

参考指標の推移（当期成績を100として指数化）



為替市況の推移（当期成績を100として指数化、対円）



株式市況

先進国株式市場は上昇しました。

トランプ政権による関税引き上げなどの政策を背景とする世界的な景気後退や貿易戦争の激化への懸念の高まりなどを受けて下落する局面があったものの、関税の引き下げなどによる景気後退懸念の緩和などを受け反発し、期間を通してみると上昇しました。

為替市況

米ドルは対円で下落し、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

》当該投資信託のポートフォリオについて

► モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>（為替ヘッジなし）予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

► モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

「MSCI INC (アメリカ)」：主力の指事業の安定した売上や事業継続性などを評価して新規購入しました。

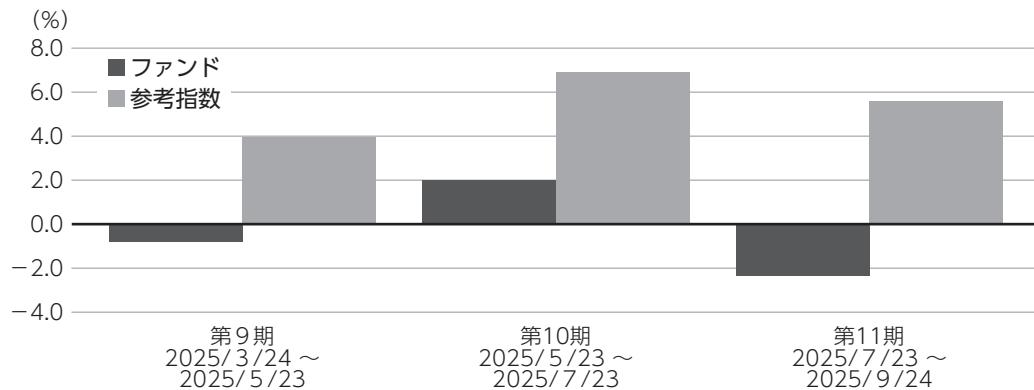
主な全売却銘柄

「BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)」：経営陣や将来の成長見通しに対する確信度の低下などから全売却しました。

第9期～第11期：2025/3/25～2025/9/24

〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指標の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

参考指標はMSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。

参考指標は、米ドル建であり、為替を考慮していない点にご留意ください。

》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期 2025年3月25日～ 2025年5月23日	第10期 2025年5月24日～ 2025年7月23日	第11期 2025年7月24日～ 2025年9月24日
当期分配金（対基準価額比率）	50 (0.461%)	100 (0.908%)	50 (0.469%)
当期の収益	0	16	—
当期の収益以外	49	83	50
翌期繰越分配対象額	956	910	823

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

► モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン<隔月決算 型>（為替ヘッジなし）予想分配金 提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プ
レミアム株式オープン マザーファンド
受益証券の組入比率を高位に保ち運用を
行っていく方針です。実質外貨建資産に
ついて、原則として為替ヘッジを行いま
せん。

► モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン マザ ー ファンド

引き続き、高いブランド力や有力な特許、
強固な販売網などの競争優位の無形資産
を裏付けに、持続的にフリー・キャッ
シュフローを増大させることが期待され
る「プレミアム企業」への投資を継続し
ます。無形資産は価格決定力や継続的な
売上をもたらし、景気減速局面でも売上
を維持できると考えています。保有企業
は利益の回復力が強く、またバリュエー
ションは株式市場対比で妥当な水準にあ
り、不確実性が高まる時期に、相対的に
安全で耐性のあるプレミアム企業に投資
するのは合理的であると運用チームでは
考えています。

2025年3月25日～2025年9月24日

〉1万口当たりの費用明細

項目	第9期～第11期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	108	0.999	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(63)	(0.583)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(42)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.004	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(0)	(0.004)	
(c)有価証券取引税	2	0.017	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.017)	
(d)その他費用	1	0.009	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	111	1.029	

作成期中の平均基準価額は、10,786円です。

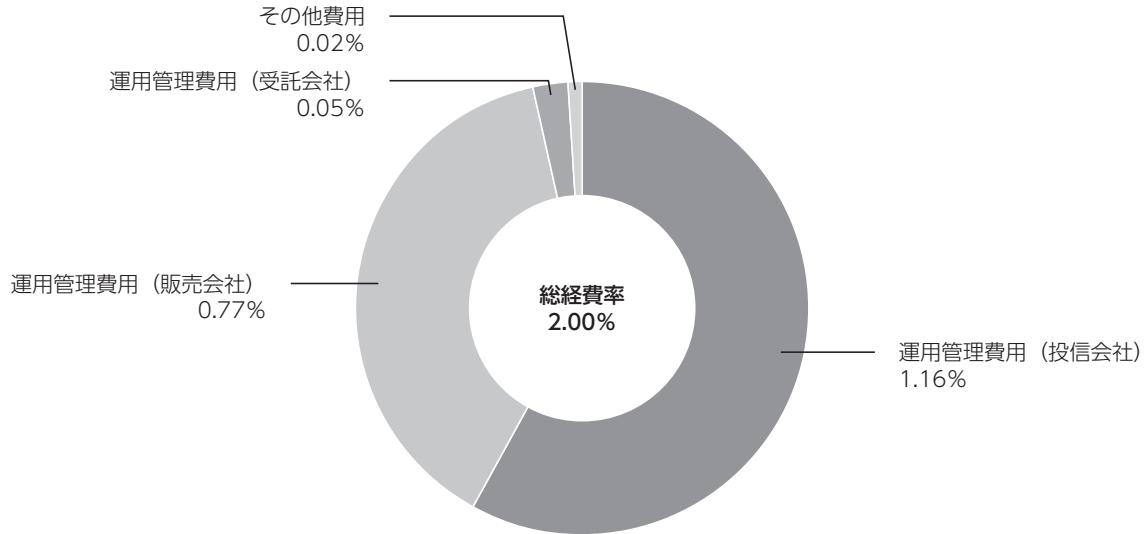
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当座成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年3月25日～2025年9月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第9期～第11期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 16,729	千円 124,950	千口 2,015	千円 15,323

○株式売買比率

(2025年3月25日～2025年9月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第9期～第11期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額		239,140,379千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額		534,460,758千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.44

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月25日～2025年9月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年9月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第8期末		第11期末	
	口 数	千口	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	53,842	千口 53,842	千口 68,557	千円 513,082

○投資信託財産の構成

(2025年9月24日現在)

項目	第11期末	
	評価額	比率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 513,082	% 98.2
コール・ローン等、その他	9,243	1.8
投資信託財産総額	522,325	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(522,685,326千円)の投資信託財産総額(538,336,989千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=147.85円	1ユーロ=174.51円	1イギリスポンド=199.83円	1スイスフラン=186.66円
1スウェーデンクローネ=15.82円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第9期末			第10期末			第11期末		
	2025年5月23日現在		円	2025年7月23日現在		円	2025年9月24日現在		円
(A) 資産									
コール・ローン等	466,813,201		円	518,697,413		円	522,325,912		円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(評価額)	8,110,740			10,030,230			9,242,930		
未収利息	458,702,357			508,667,054			513,082,863		
104				129			119		
(B) 負債	3,554,284		円	6,325,633		円	4,247,386		円
未払収益分配金	2,146,085			4,696,338			2,443,027		
未払解約金	1,936			314			7		
未払信託報酬	1,403,708			1,626,019			1,801,072		
その他未払費用	2,555			2,962			3,280		
(C) 純資産総額(A-B)	463,258,917		円	512,371,780		円	518,078,526		円
元本	429,217,059			469,633,891			488,605,443		
次期繰越損益金	34,041,858			42,737,889			29,473,083		
(D) 受益権総口数	429,217,059口			469,633,891口			488,605,443口		
1万口当たり基準価額(C/D)	10,793円			10,910円			10,603円		

○損益の状況

項 目	第9期	第10期	第11期
	2025年3月25日～ 2025年5月23日	2025年5月24日～ 2025年7月23日	2025年7月24日～ 2025年9月24日
(A) 配当等収益	円 3,748	円 4,262	円 3,677
受取利息	3,748	4,262	3,677
(B) 有価証券売買損益	△ 1,430,079	11,271,760	△10,682,077
売買益	223,622	11,320,929	16,626
売買損	△ 1,653,701	△ 49,169	△10,698,703
(C) 信託報酬等	△ 1,406,263	△ 1,628,981	△ 1,804,352
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,832,594	9,647,041	△12,482,752
(E) 前期繰越損益金	△ 273,905	△ 5,226,503	△ 269,978
(F) 追加信託差損益金	39,294,442	43,013,689	44,668,840
(配当等相当額)	(23,658,265)	(27,661,571)	(29,628,988)
(売買損益相当額)	(15,636,177)	(15,352,118)	(15,039,852)
(G) 計(D+E+F)	36,187,943	47,434,227	31,916,110
(H) 収益分配金	△ 2,146,085	△ 4,696,338	△ 2,443,027
次期繰越損益金(G+H)	34,041,858	42,737,889	29,473,083
追加信託差損益金	39,294,442	43,013,689	44,668,840
(配当等相当額)	(23,710,621)	(27,690,959)	(29,646,657)
(売買損益相当額)	(15,583,821)	(15,322,730)	(15,022,183)
分配準備積立金	17,333,274	13,322,921	10,598,663
繰越損益金	△22,585,858	△13,598,721	△25,794,420

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 374,569,071円
 作成期中追加設定元本額 130,360,189円
 作成期中一部解約元本額 16,323,817円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,0603円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年3月25日～ 2025年5月23日	2025年5月24日～ 2025年7月23日	2025年7月24日～ 2025年9月24日
費用控除後の配当等収益額	4,914円	772,068円	一円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	一円	一円	一円
収益調整金額	23,710,621円	29,414,968円	29,646,657円
分配準備積立金額	19,474,445円	17,247,191円	13,041,690円
当ファンドの分配対象収益額	43,189,980円	47,434,227円	42,688,347円
1万口当たり収益分配対象額	1,006円	1,010円	873円
1万口当たり分配金額	50円	100円	50円
収益分配金金額	2,146,085円	4,696,338円	2,443,027円

③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託報酬の中から支弁しております。

- 20億円以下の部分に対して 年1万分の80
 20億円超40億円以下の部分に対して 年1万分の75
 40億円超80億円以下の部分に対して 年1万分の70
 80億円超の部分に対して 年1万分の65

○分配金のお知らせ

	第9期	第10期	第11期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	100円	50円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三義UFGアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせくださいか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第27期》決算日2025年8月25日

[計算期間：2025年2月26日～2025年8月25日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
8月25日に第27期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第27期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	基準価額	米ドル為替		(参考指數) MSCIワールド・インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
			期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
23期(2023年8月23日)	円 60,910	% 17.1	円 145.72	% 8.6	28,203	% 7.3	97.5	% —	百万円 402,858
24期(2024年2月26日)	70,968	16.5	150.36	3.2	32,533	15.4	98.1	—	490,493
25期(2024年8月23日)	70,888	△ 0.1	146.27	△2.7	35,505	9.1	98.6	—	506,898
26期(2025年2月25日)	76,985	8.6	150.23	2.7	37,883	6.7	97.9	—	548,147
27期(2025年8月25日)	77,071	0.1	147.45	△1.9	41,835	10.4	98.2	—	555,427

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)（出所：MSCI）の基準日前営業日の指數を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指數化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものであります、その確実性及び完結性をMSCIは如何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	米 ド ル 為 替		(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	M S C I ワ ー ル ド ・ イ ン デ ー ッ ク ス (税 引 き 後 配 当 引 み 米 ド ル 建 て)	騰 落 率		
(期 首) 2025年2月25日	円 76,985	% —	円 150.23	% —	37,883	% —	% 97.9
2月末	76,062	△1.2	149.67	△0.4	37,285	△ 1.6	98.0
3月末	74,901	△2.7	149.52	△0.5	36,044	△ 4.9	97.5
4月末	71,294	△7.4	142.57	△5.1	36,221	△ 4.4	97.5
5月末	74,992	△2.6	143.87	△4.2	38,442	1.5	98.1
6月末	75,323	△2.2	144.81	△3.6	39,939	5.4	98.4
7月末	77,546	0.7	149.39	△0.6	40,824	7.8	98.2
(期 末) 2025年8月25日	77,071	0.1	147.45	△1.9	41,835	10.4	98.2

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.1%の上昇となりました。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

ユーロ、英ポンドが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

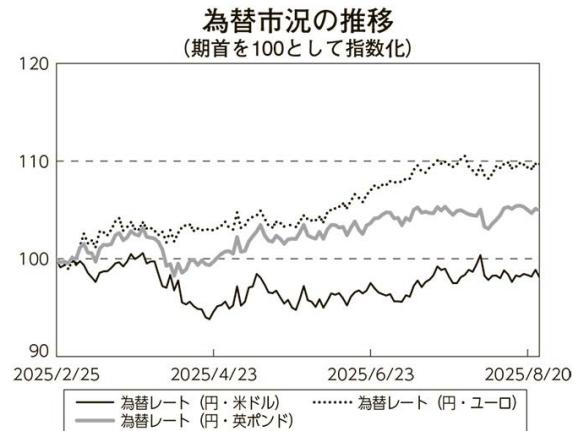
(下落要因)

個別銘柄 (ACCENTURE PLC-CL A (アイルランド) など) の株価下落などが、基準価額の下落要因となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について



◎株式市況

- ・先進国株式市場は上昇しました。
- ・トランプ政権による関税引き上げなどの政策を背景とする世界的な景気後退や貿易戦争の激化への懸念の高まりなどを受けて下落する局面があったものの、関税の引き下げなどによる景気後退懸念の緩和などを受け反発し、期間を通してみると上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落し、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・「MSCI INC (アメリカ)」：主力の指数事業の安定した売上や事業継続性などを評価して新規購入しました。

◎主な全売却銘柄

- ・「BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)」：経営陣や将来の成長見通しに対する確信度の低下などから全売却しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や継続的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月26日～2025年8月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 2 (2)	% 0.003 (0.003)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.012 (0.012)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	16	0.022	
期中の平均基準価額は、74,767円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2025年8月25日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 24,537	千アメリカドル 586,708	百株 26,031	千アメリカドル 542,247
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,408	33,469	—	—
	フランス	268	8,848	4,572	87,291
	イギリス	211	950	—	—
	イギリス	110,024	千イギリスポンド 63,870	—	千イギリスポンド —

(注) 金額は受渡金。

○株式売買比率

(2025年2月26日～2025年8月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	199,426,712千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	534,120,247千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.37

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2025年8月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	8,296	6,398	84,841	12,509,907	ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,287	3,547	109,233	16,106,533	商業・専門サービス
ACCENTURE PLC-CL A	4,020	4,653	120,637	17,787,978	ソフトウェア・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	4,693	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
AUTOZONE INC	160	147	60,742	8,956,479	一般消費財・サービス流通・小売り
COCA-COLA CO/THE	16,466	20,653	144,840	21,356,727	食品・飲料・タバコ
CME GROUP INC	4,181	3,374	90,943	13,409,553	金融サービス
EQUIFAX INC	1,603	2,061	52,561	7,750,173	商業・専門サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	737	1,231	46,991	6,928,846	金融サービス
S&P GLOBAL INC	773	2,164	120,499	17,767,588	金融サービス
PROCTER & GAMBLE CO/THE	6,862	8,363	132,708	19,567,808	家庭用品・パーソナル用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,867	2,357	126,560	18,661,276	ソフトウェア・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,013	2,433	121,689	17,943,126	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	2,227	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
MICROSOFT CORP	6,367	6,235	316,278	46,635,219	ソフトウェア・サービス
ORACLE CORP	3,282	1,221	28,862	4,255,800	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	5,184	5,916	121,928	17,978,374	メディア・娯楽
HOLOGIC INC	6,668	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
BOOKING HOLDINGS INC	189	191	109,411	16,132,746	消費者サービス
CONSTELLATION BRANDS INC-A	1,391	—	—	—	食品・飲料・タバコ
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	6,682	6,521	117,822	17,372,953	金融サービス
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	2,351	2,695	70,677	10,421,387	商業・専門サービス
MSCI INC	—	654	37,617	5,546,693	金融サービス
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	2,916	3,039	52,198	7,696,658	食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	6,655	6,936	242,789	35,799,259	金融サービス
ZOETIS INC	1,734	6,160	96,491	14,227,724	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	2,003	1,826	30,235	4,458,257	金融サービス
ARTHUR J GALLAGHER & CO	3,424	4,870	147,650	21,771,060	保険
CDW CORP/DE	2,599	2,709	45,250	6,672,159	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
STERIS PLC	2,154	2,245	56,558	8,339,501	ヘルスケア機器・サービス
AON PLC-CLASS A	3,885	3,494	131,061	19,325,009	保険
OTIS WORLDWIDE CORP	6,984	8,070	71,492	10,541,500	資本財
小計	株数・金額	121,669	120,175	2,888,574	425,920,306
	銘柄数 <比率>	31	28	—	<76.7%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
SAP SE		9,152	10,560	245,643	42,358,807
小計	株数・金額	9,152	10,560	245,643	42,358,807
	銘柄数 <比率>	1	1	—	<7.6%>
(ユーロ…フランス)			—		
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON		1,097	—	—	耐久消費財・アパレル
L'OREAL		4,051	4,222	168,475	家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA		3,377	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	8,526	4,222	168,475	29,051,890
	銘柄数 <比率>	3	1	—	<5.2%>

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…イギリス) RELX PLC		百株 5,013	百株 5,224	千ユーロ 21,620	千円 3,728,283	商業・専門サービス	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	5,013	5,224	21,620	3,728,283	<0.7%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数 <比率>	22,692	20,008	435,739	75,138,981	<13.5%>	
(イギリス) RELX PLC EXPERIAN PLC HALEON PLC		19,140 11,183 143,647	24,780 11,655 247,559	千イギリスポンド 88,814 45,096 90,235	17,672,265 8,973,352 17,955,053	商業・専門サービス 商業・専門サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	173,971	283,996	224,146	44,600,670	<8.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	318,332	424,180	—	545,659,958	<98.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年8月25日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 545,659,958	% 97.7
コール・ローン等、その他	12,890,166	2.3
投資信託財産総額	558,550,124	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(550,369,140千円)の投資信託財産総額(558,550,124千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=147.45円	1ユーロ=172.44円	1イギリスポンド=198.98円	1スイスフラン=183.65円
1スウェーデンクローネ=15.51円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	560,599,451,386
株式(評価額)	12,448,188,033
未収入金	545,659,958,727
未収配当金	2,055,860,197
未収利息	435,373,071
未利回り	71,358
(B) 負債	5,172,397,656
未払金	4,689,238,833
未払解約金	483,158,823
(C) 純資産総額(A-B)	555,427,053,730
元本	72,066,991,822
次期繰越損益金	483,360,061,908
(D) 受益権総口数	72,066,991,822口
1万口当たり基準価額(C/D)	77,071円

<注記事項>

- ①期首元本額 71,201,466,571円
 期中追加設定元本額 4,133,358,411円
 期中一部解約元本額 3,267,833,160円
 また、1口当たり純資産額は、期末7,7071円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	49,007,139,063円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	14,372,230,545円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	6,209,218,491円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式 (為替ヘッジなし) 2020-11 (限定追加型)	995,676,967円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式 (為替ヘッジなし) 2023-02 (限定追加型)	919,467,768円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	488,959,404円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン <隔月決算型> (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	69,528,849円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン <隔月決算型> (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	4,770,735円
合計	72,066,991,822円

○損益の状況 (2025年2月26日～2025年8月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	3,897,030,756
受取利息	3,777,160,061
その他収益金	119,868,822
	1,873
(B) 有価証券売買損益	△ 2,686,178,717
売買益	44,946,611,609
売買損	△ 47,632,790,326
(C) 保管費用等	△ 36,622,051
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,174,229,988
(E) 前期繰越損益金	476,945,847,921
(F) 追加信託差損益金	26,514,891,533
(G) 解約差損益金	△ 21,274,907,534
(H) 計(D+E+F+G)	483,360,061,908
次期繰越損益金(H)	483,360,061,908

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お 知 ら せ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2025年4月1日)